

M-MANU200547-01  
B-MANU201010-02

## 2 運用編

RAIDの設定を行うと、それまでのすべてのデータは消去されます。RAIDの設定を行う前に、お使いのハードディスクのバックアップをしてください。

## 運用上の注意

## ●ハードディスクを廃棄あるいは譲渡などされる際の注意事項

①本製品に記録されたデータは、OS上で削除したり、フォーマットするなどの作業を行っただけでは、特殊なソフトウェアなどを利用して、データを復元・再利用できてしまう場合があります。その結果として、情報が漏洩してしまう可能性があります。

②情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ消去のためのソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめいたします。

## ●ハードディスクデータ消去ソフトのご案内

完全データ消去ソフト「Disk Refresher Deluxe LE」をダウンロードして、ご活用ください。ダウンロード方法は、「③Windows版 セットアップガイド」の「サポートソフトについて」を参照してください。

## RAIDモードの設定

RAIDとは複数のハードディスクを繋げることにより アクセス速度を速くしたり、冗長性を持たせて物理的な故障から大事なデータを保護する為の技術です。  
本製品をパソコンに接続する前に、どのモードを設定するか決めてください。

## RAIDモードについて

## ◆ストライピングモード (RAID0) ※出荷時設定

※出荷時は、ストライピングモードに設定してありますのでそのままお使いいただけます。

2台のハードディスクに同時に分散書き込みすることで、2台分の容量を1台として認識します。高速で、大容量のハードディスクとして使いたい場合に最適です。  
ただし、冗長性はなくなりますので、1台故障した場合にも、すべてのデータが破損します。

## ◆ミラーリングモード (RAID1)

2つのハードディスクに同じデータを同時に書き込むため、一方のハードディスクがクラッシュしても、データは安全に保護されます。

③注意 ミラーリングにより、ハードディスクの故障などの物理的なデータの破損およびシステムダウンを防ぐことはできませんが、ウィルスの感染やユーザーの操作ミス、使用中の停電などのトラブルに起因するデータ損失を防ぐことはできません。

## ◆マルチディスクモード

個々のハードディスクを認識し、2台のハードディスクとして使用できます。

## ●モード切替に関する注意

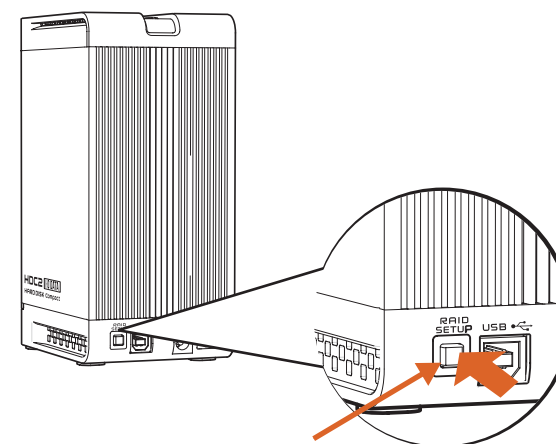
本製品は、RAIDの設定情報 (RAID0/1に関する情報) をハードディスクに記録しています。そのため、すでに別のモードで使用したハードディスクを、新しくRAIDやマルチディスクモードでそのまま使用すると、不測の動作となる場合があります。

そのため、RAID0/1で使用したハードディスクを別のモードで使用する場合は、重要なデータが入っていないことを確認の上、2台接続し、「RAIDモードの設定方法」にしたがい、使用したいモードを選択・設定を行い、設定情報の更新を行ってください。

## RAIDモードの設定方法

③注意 RAIDの設定を行うと、それまでのすべてのデータは消去されます。RAIDの設定を行う前に、お使いのハードディスクのバックアップをしてください。  
RAIDモードを変更した場合は、再フォーマットする必要があります。

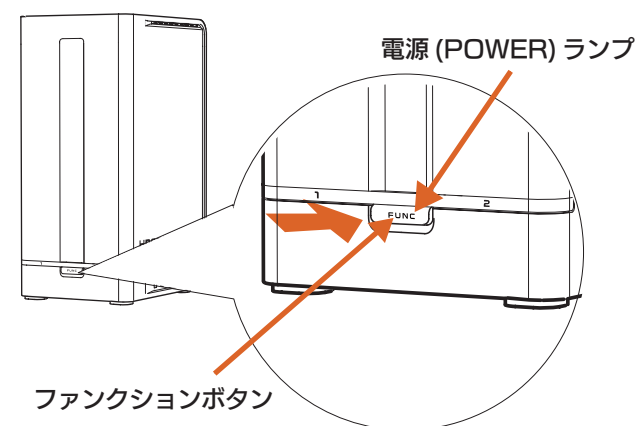
- 1 パソコンと接続している場合は、パソコンから取り外し、ケーブル類をすべて外し、電源モードスイッチをON側に、本製品の電源を入れます。
- 2 背面にある[RAID SETUP]ボタンを、3秒以上長押しします。→電源 (POWER) ランプが点滅し、設定モードになります。

RAID SETUP ボタン  
3 秒以上長押し

③注意 RAID SETUPボタンを誤って押さないように注意してください。誤って押した場合は、他のボタンを押さずに再度 RAID SETUPボタンを押してください。電源 (POWER) ランプが点滅から点灯に変わります。

- 3 前面のファンクションボタンを押してRAIDモードを選択します。電源 (POWER) ランプの色が、ファンクションボタンを押すごとに変わります。

青色:ストライピングモード (RAID0)  
紫色:ミラーリングモード (RAID1)  
緑色:マルチディスクモード



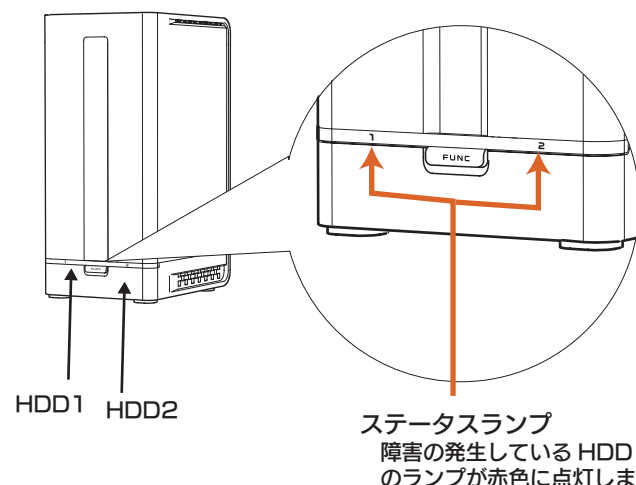
- 4 再度[RAID SETUP]ボタンを押します。以上でRAIDモード設定は終了です。

③注意 以下のモード変更後は、内部のデータがWindows、Macとも強制的に消去されます。そのため再フォーマットする必要があります。  
ミラーリング <--> ストライピング  
ストライピング <--> マルチディスク  
マルチディスク <--> ミラーリング

## 故障ディスクの見分け方

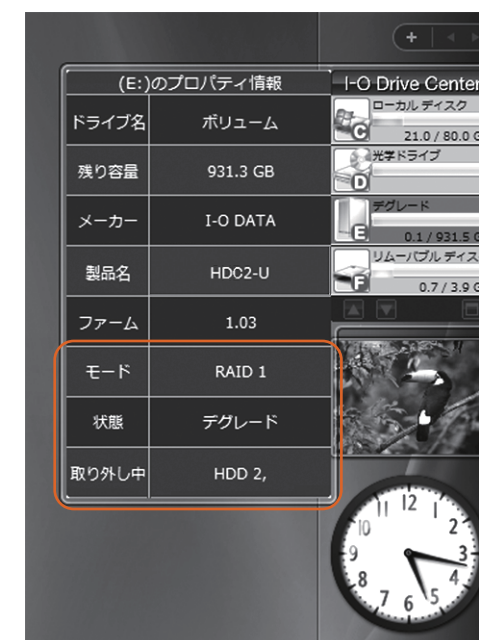
## 本体のランプ表示で見分ける (ミラーリングモード時)

前面のステータスランプでハードディスクの状態を監視することができます。ハードディスクが故障した場合は、ステータスランプが赤色に点灯します。

ステータスランプ  
障害の発生している HDD 側のランプが赤色に点灯します。

## I-O Drive Centerで見分ける (Windows Vista®/XPのみ対応)

I-O Drive Centerは、接続されているハードディスクやDVDドライブをリアルタイムに表示するソフトウェアです。下記の画面のように本製品のRAIDモードやリビルド情報などを表示することができます。



## 使用するには

弊社サポートライブラリよりダウンロードしてご利用ください。詳しくは、「③Windows版 セットアップガイド」の【サポートソフトについて】をご覧ください。

## 故障ハードディスクの交換 (新規ハードディスクと交換)

本製品には2台のハードディスクが入っています。  
ハードディスクが故障した場合の交換手順を説明します。  
新規に購入、または他のハードディスクと交換する手順も同様です。

- ご注意** ハードディスクを挿入する・取り出す場合は以下にご注意ください。
- バックアップが可能な場合、大事なデータは必ずバックアップを行った上で作業をしてください。
  - 必ず本製品をパソコンから取り外して、電源を切ってから取り出してください。
  - 交換用ハードディスクは、弊社製HDI-SAシリーズをご使用ください。また、故障したハードディスクと同じ容量のものをご使用ください。(HDC2-U1.0の場合は、HDI-SA500H7を使用します。)

### ミラーリングモード(RAID1)で使用している場合

ミラーリングモード(RAID1)の設定時でご使用の場合、どちらかのハードディスクが故障しても元の状態にリビルド(復旧)することができます。  
故障したハードディスクは、本製品前面にあるステータスランプが赤色に点灯します。

下記の手順にてリビルドを行います。

- 1 故障しているハードディスクをステータスランプ(1または2)で確認します。
- 2 故障したハードディスクを、新しいハードディスクに交換します。  
※交換方法は、右記【ハードディスクの交換方法】を参照してください。

**ご注意** 正常なハードディスクは抜かないでください。

- 3 電源を入れると、自動復旧(オートリビルド)し、再びミラーリング状態に再構成されます。  
※リビルド中は、電源ランプが水色に点灯、アクセスランプがオレンジ色に点滅、修復中のHDDのステータスランプが赤色に点滅します。  
リビルドが完了する時間は、ハードディスクのサイズにより異なります。おおよその目安は、以下の通りです。

型名	1台のディスク容量	リビルド時間*
HDC2-U1.0	500GB	約13時間
HDC2-U2.0	1.0TB	約26時間

※パソコンと接続しない状態(オフラインリビルド)でのリビルド時間

- 4 アクセスランプおよびステータスランプが消灯したらリビルド完了です。電源ランプが紫色(ミラーリングモード)に点灯します。

### ストライピングモード(RAID0) マルチディスクモードで使用している場合

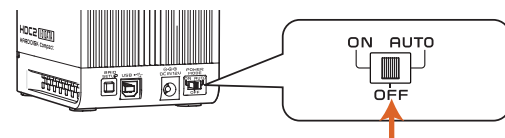
- 1 故障しているハードディスクをステータスランプ(1または2)で確認します。
- 2 故障したハードディスクを、新しいハードディスクに交換します。  
※交換方法は、右記【ハードディスクの交換方法】を参照してください。
- 3 電源を入れてハードディスクをフォーマットします。  
※データの復旧はできません。

### 2台とも新規のハードディスクに交換する場合

- 1 1台目のハードディスクを、新しいハードディスクに交換します。  
※交換方法は、右記【ハードディスクの交換方法】を参照してください。
- 2 本製品の上下を入れ替えて、2台目のハードディスクを、新しいハードディスクに交換します。
- 3 2台とも交換した場合は、マルチディスクモードとして認識されます。ミラーリングモード、ストライピングモードでお使いになる場合は、再度RAIDモードの設定を行ってください。

### ハードディスクの交換方法

- 1 パソコンから本製品を取り外します。
- 2 電源モードスイッチをOFFにし、ACアダプター、USBケーブルを外します。



- 3 上カバーのネジ(2本)をコイン等を使って取り外します。



- 4 上カバーを取り外します。

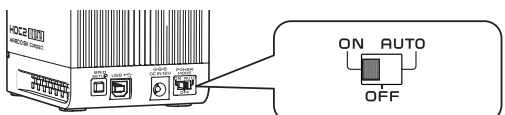


- 5 故障したハードディスクを、新しいハードディスクに交換します。  
※交換するハードディスクを下にして下記のように入れてください。



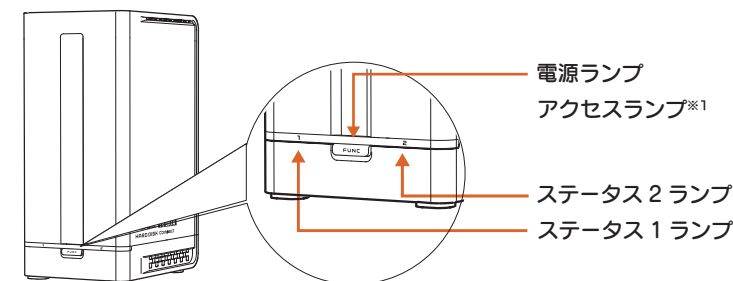
交換するハードディスクを下側にする

- 6 上カバーを取り付けます。
- 7 ACアダプター、USBケーブルを元に戻します。
- 8 電源モードスイッチをONまたはAUTOにします。



## ランプ表示

本製品は、ランプの表示状態(点灯・消灯・点滅)の組み合わせにより、現在の動作状態を表示します。



状態	RAIDモード	システム状態	電源ランプ(POWER)	アクセスランプ(ACCESS)	ステータス1ランプ(STATUS)	ステータス2ランプ(STATUS)
設定中 設定モード	ミラーリングモード	モード設定中	紫色点滅	消灯	消灯	消灯
	ストライピングモード	モード設定中	青色点滅	消灯	消灯	消灯
	マルチディスクモード	モード設定中	緑色点滅	消灯	消灯	消灯
通常	ミラーリングモード	動作中	紫色点灯	点滅 (アクセス時のみ)	消灯	消灯
	ストライピングモード	動作中	青色点灯	点滅 (アクセス時のみ)	消灯	消灯
	マルチディスクモード	動作中	緑色点灯	点滅 (アクセス時のみ)	消灯	消灯
エラー	ミラーリングモード	HDD1/未接続・故障	紫色点灯	点滅 (アクセス時のみ)	赤色点灯	消灯
		HDD2/未接続・故障	紫色点灯	点滅 (アクセス時のみ)	消灯	赤色点灯
	ストライピングモード	HDD1/未接続・故障	青色点灯	点滅 (アクセス時のみ)	赤色点灯	消灯
		HDD2/未接続・故障	青色点灯	点滅 (アクセス時のみ)	消灯	赤色点灯
	マルチディスクモード	HDD1/未接続・故障	緑色点灯	点滅 (アクセス時のみ)	赤色点灯	消灯
		HDD2/未接続・故障	緑色点灯	点滅 (アクセス時のみ)	消灯	赤色点灯
リビルド	ミラーリングモード	HDD1→HDD2リビルド中	水色点灯	点滅	消灯	赤色点滅
		HDD2→HDD1リビルド中	水色点灯	点滅	赤色点滅	消灯
		HDD1→HDD2リビルド完了	紫色点灯	点滅 (アクセス時のみ)	消灯	消灯
		HDD2→HDD1リビルド完了	紫色点灯	点滅 (アクセス時のみ)	消灯	消灯
		HDD1→HDD2リビルド中に HDD1が故障※2	水色点灯	消灯	赤色点灯※3	赤色点滅
		HDD2→HDD1リビルド中に HDD2が故障※2	水色点灯	消灯	赤色点滅	赤色点灯※3

※1 ミラーリングモード時は、アクセスの有無に関係なく、十数秒に1回アクセスランプが点灯・点滅しますが、異常ではありません。

※2 リビルド中のエラー(メインドライブエラー)の場合は、データの入っているドライブにエラーが発生していることを表しています。

この場合、そのハードディスク1台のみで電源を再投入し、パソコンに接続して、なるべく多くのデータを別のハードディスクなどに退避(コピー)してください。退避後は、2台の新規のハードディスクにてミラーリングを再構築してください。

※3 エラーの状況により点滅または消灯する場合があります。